

京都嵯峨 芸術大学 広報

KYOTO SAGA

UNIVERSITY OF ARTS

PUBLIC RELATIONS

Contribution

VOL.13

「かけがえのない自分」を育てるために

京都嵯峨芸術大学学長 三好郁朗

JULY 2005

News



平成17年度事業計画と平成16年度収支決算報告

個人情報保護法

平成17年度新体制

執行部体制／教学体制／附属機関、研究機関等体制／事務局人事／
名誉教授の称号授与／昇任人事／新規採用人事

総務関係

新任教職員紹介

平成17年度入学式

平成17年度入試結果

Topics

教員の活躍

京都府知事より感謝状授与／嵯峨中学校より感謝
状授与

在学生の活躍

かばんプロジェクト／JCF学生映画祭でW受賞！／
高倉通りに学生作品が展示

行事

大覚寺華道祭／新入生歓迎祭／下宿生交流会

附属博物館

本学所蔵収蔵品展を開催



Information



入試関連情報

連続講座のおしらせ

連続講座「京の美意識」

生涯学習講座 小学生夏休み講座開催

京都嵯峨野文化サロン

第4回企画

「自然と人の心が織りなす雅な世界、『源氏物語』」

月例法要

アートスペース嵯峨スケジュール

附属博物館スケジュール



KYOTO SAGA
UNIVERSITY OF ARTS

本学がこれまでの短期大学に加えて芸術学部を創設し、京都嵯峨芸術大学と校名を改めて4年、この3月には芸術学部一期生が無事巣立っていきました。新しく生まれ変わった大学がいろいろな面で手探りをつづけたこの年月、先輩のいない、いわばパイオニアとして頑張ってくれた諸君、その前途に幸あれと祈りたい気持ちでいっぱいです。

そして今年もまた、桜の便りとともに、芸術学部、短期大学部、専攻科、さらには新設の大学院芸術研究科をあわせて、484名の新入学生を迎えることができました。

ます。一昨年成文化された「大覚寺学園教育憲章」には、その理念が「やわらかな感性、ゆたかな美意識、かけがえのない自分」という言葉で謳われています。感性と美意識の大切さは、芸術大学に学ぶ諸君にとって当然のことでしょうが、「かけがえのない自分」をどのように育て、確立していくか、今日の社会では、それがなかなか容易なことではなくなっています。自分を大切にすることは当然でしょうが、それだけではなく、周囲の人々や社会について正しい理解をもてるようにならなければ、自己の確立もまたあり得ません。芸術活動もまた社会的コミュニケーションの一分野です。自分

「かけがえのない自分」を育てるために

三好郁朗 ●京都嵯峨芸術大学 学長

卒業の日まで、ぜひ充実した毎日を送ってほしいものです。それにしても、大都会にありながらこれほどに優しく美しい自然環境に恵まれた大学というのも、そうざらにはないと思いませんか。昨年新築された有響館から眺める嵐山・桂川の景色など、桜といい、新緑といい、この季節、まさに言葉を超える素晴らしさです。こうした環境で芸術について学び、それぞれに固有の美を追い求めて充実した時間を過ごせる、その幸せを、ともに噛みしめてみようではありませんか。

本学は、学生諸君が芸術分野における創造的訓練を通じて、技術的進歩もさることながら、なによりまず自己の発見とその確立に務めてくれることを第一の願いとしてい

独自の世界を構築するだけに終わらず、それを広く世界に向かって開いていく姿勢が必要でしょう。そのための修練の場こそが大学なのです。しかも、具体的に何をどう学ぶべきかは学生諸君一人一人が自分で考え、自分で見つけていかねばならない。これまでと違って、与えられるものをただ受け身で待っているようでは、何事も起こらず、ただただ無為に時間が過ぎていく。残念ながらそのようにして大学で学ぶ意味を見失っていく学生諸君も少なくないのです。

本学に限ったことではありませんが、近年わたしたち大学関係者が心を痛めている問題の一つに、休学、退学者が多くなっていることがあります。もちろん経済的な理由や病気など、やむをえないと了解できる

ます。一昨年成文化された「大覚寺学園教育憲章」には、その理念が「やわらかな感性、ゆたかな美意識、かけがえのない自分」という言葉で謳われています。感性と美意識の大切さは、芸術大学に学ぶ諸君にとって当然のことでしょうが、「かけがえのない自分」をどのように育て、確立していくか、今日の社会では、それがなかなか容易なことではなくなっています。自分を大切にすることは当然でしょうが、それだけではなく、周囲の人々や社会について正しい理解をもてるようにならなければ、自己の確立もまたあり得ません。芸術活動もまた社会的コミュニケーションの一分野です。自分独自の世界を構築するだけに終わらず、それを広く世界に向かって開いていく姿勢が必要でしょう。そのための修練の場こそが大学なのです。しかも、具体的に何をどう学ぶべきかは学生諸君一人一人が自分で考え、自分で見つけていかねばならない。これまでと違って、与えられるものをただ受け身で待っているようでは、何事も起こらず、ただただ無為に時間が過ぎていく。残念ながらそのようにして大学で学ぶ意味を

見失っていく学生諸君も少なくないのです。

ケースも多いのですが、なかには申し出た本人にも理由が良くわかっていない、なんとなくやる気がなくなり、一人考え込んでいるうちにどうにもならなくなって、ただただその場から逃げ出したいだけ、そういったケースも少なくありません。みなさんも本学で学ぶ2年あるいは4年で、きっとさまざまに悩むことでしょう。悩むなどいうではありません。なにひとつ悩まないなどというのは、その方がおかしいのです。悩み苦しむことこそ若さの証明だし、芸術創造の源泉だとも言えるでしょう。ただし、逃げてはいけません。流されてもいいけません。できればその悩みと真正面から取っ組み合ってほしいのです。一番いけないのは、ひとり自室にこもってぐじぐじと考え込み、そうした状況に耐え切れず、何もかも放り出して逃げ出してしまうことではないでしょうか。自分の力で解決できなければ、先生がたに相談してみしてほしい。



平成17年度事業計画と平成16年度収支決算報告

個人情報保護法

1. 平成17年度事業計画について

平成16年度は霖原キャンパスの校地取得を経て「有響館」の建設、関連施設の整備、有響館完成記念式典など、建築に伴う大きな事業が終了しました。平成17年度は、堅実な事業計画を中心としながら、第三者評価認証機関(外部評価)による準備作業等に伴う予算化、新規教務システムの導入、学生ホールの改修、学生募集を中心とした入試説明会等の充実と各種受験媒体広報の効率化、福利厚生面では学内奨学金の充実、地域貢献事業として「生涯学習講座」の実施、大覚寺と共同で行う「京都嵯峨野文化サロン」、高等学校との教育連携を目的とした高大連携の充実など、主な事業として推進することが確認されました。

2. 平成16年度収支決算報告

平成17年5月30日の理事会において、平成16年度の決算報告がなされました。概要は以下の通りです。「財産目録」「収支計算書」「貸借対照表」「事業報告書」「監事の監査報告書」(私立学校法第47条及び第66条関係に基づく財務情報等の公開)は閲覧が可能ですので、総務部(総務課または経理課)へお問い合わせ下さい。

3. ペイオフ解禁への対応

平成17年4月1日からのペイオフ解禁に伴い、平成17年2月の理事会で検討、本学園も決済性預金への変更など適正な方法に変更することとしました。

個人情報保護法について

平成17年4月1日より完全施行となった個人情報保護法に対応して、理事会として「学校法人大覚寺学園個人情報保護の基本方針」を制定し、本学園の取り組み姿勢を明らかにしました。また、その基本方針に沿って大学として「個人情報の保護に関する規程」を制定し、具体的にその対応の方法を規定しています。新入生、在学生については4月にさらに詳しく個人情報の利用目的を示して、個人情報の保護についての大学の対応について説明し理解を求めています。

卒業生、保護者、これから本学園を受験しようとお考えの方々の個人情報についても、在学生同様の保護措置をとります。

以下に、本学園の「個人情報保護の基本方針」を掲げますので、ご覧下さい。

学校法人 大覚寺学園
個人情報保護の基本方針

○学校法人 大覚寺学園での個人情報の取扱について

- ・個人情報の保護に関する法律(平成15年法律第57号)
- ・学校における生徒等に関する個人情報の適正な取扱いを確保するために事業者が講ずべき措置に関する指針(平成16年文部科学省告示第161号)
- ・雇用管理に関する個人情報の適正な取扱いを確保するために事業者が講ずべき措置に関する指針(平成16年厚生労働省告示第259号)

・京都府個人情報保護条例
を遵守して行います。

○個人情報の取り扱いについては、原則として1～8項により行いますが、

- ・法令に基づく場合
- ・本人の同意がある場合
- ・出版、報道等により公にされている場合
- ・生命や財産を脅かすような緊急時
- ・その他止むを得ない場合

等の例外事項の適用については、個人情報保護責任者の責任の下で行います。

当学園個人情報保護基本方針や個人情報保護についてご質問がある方、当学園の個

◎平成16年度収支決算報告書 (単位：円)

消費収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒納付金収入	1,873,569,000	1,868,229,000	5,340,000
手数料	37,631,000	38,313,148	△682,148
寄付金	9,610,000	10,293,698	△683,698
補助金	178,524,000	180,183,224	△1,659,224
資産運用収入	405,000	446,749	△41,749
事業収入	12,280,000	13,234,095	△954,095
雑収入	29,559,000	29,734,683	△175,683
帰属収入 合計	2,141,578,000	2,140,434,597	1,143,403
基本金組入額 合計	△710,856,000	△678,993,278	△31,862,722
消費収入の部 合計	1,430,722,000	1,461,441,319	△30,719,319

学生生徒納付金＝「入学金、授業料、実験実習費」等のこと。
手数料＝主に入試検定料、各種証明書等。
補助金＝国庫補助等の収入で、学生生徒納付金とともに大きな収入源です。
事業収入＝受託事業や公開講座、生涯学習講座等の収入です。
帰属収入＝負債とされない実質の収入。

消費支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費	1,110,788,000	1,110,624,461	163,539
教育研究経費	599,133,000	574,171,610	24,961,390
管理経費	191,818,000	185,253,078	6,564,922
借入金等利息	55,488,000	55,487,613	387
資産処分差額	5,952,000	5,950,273	1,727
徴収不能額	900,000	1,480,000	△580,000
予備費	14,048,000		14,048,000
消費支出の部 合計	1,978,127,000	1,932,967,035	45,159,965
当年度消費支出超過額	547,405,000	471,525,716	
前年度繰越消費支出超過額	1,480,211,680	1,480,211,680	
翌年度繰越消費支出超過額	2,027,616,680	1,951,737,396	

人件費＝教職員(専任・非常勤等)の基本給・各種手当など。
教育研究経費＝教育研究活動に必要な全ての諸経費。
管理経費＝総務や経理、法人業務、学生募集の経費など。

平成17年度新体制

個人情報保護に関して不備などを発見された方は、法人本部総務部総務課個人情報保護担当までご連絡をお願いします。

電 話	075-864-7858(平日 9:00～17:00)
電子メール	infosec@kyoto-saga.ac.jp (24時間受付)

なお、詳細については、下記の各個別方針もご覧下さい。

- ・個人情報の保護に関する規程
- ・ネットワークに係る情報セキュリティに関する基本方針

- ・個人情報の安全管理措置に関する取扱要領

1.体制

- ・学長を筆頭に各学部長、事務管理職を個人情報保護管理者に任命します。

- ・各業務において担当者を設置して個人情報保護を実践していきます。

- ・個人情報の取扱いに関する事項について不服がある場合、「不服申立審査会」(仮称)を設けて不服の申立てに対応いたします。

- ・個人情報の保護にかかわる重要事項を審議決定する機関として、「個人情報保護委員会」を設け、全学的な施策や個人情報の取扱いについて付議された事項を審議します。

2.同意の内容について

- 同意を求める際には、以下の項目について通知します。

- ・収集目的。
- ・第三者へ提供を行うか否かと、行う場合の主旨と提供先。
- ・個人情報の取り扱いなどの問い合わせ先。
- ・開示、訂正、削除、拒否に関すること、本人確認方法、対応の目安。

3.個人情報の取得(収集)について

- ・本人から個人情報を直接取得(収集)する際には、本学への入学、本学での教育研究活動、学生支援業務及び卒業生管理に必要な範囲で、事前に利用目的などを告知し、同意を得た場合にのみ取得(収集)します。
- ・第三者から提供を受ける際には、利用目的と共に同意が取られているかを確認し、同意が取れて

- いない場合には情報主体本人から同意を得ます。
- ・公開されている個人情報を取得する際には、利用目的を特定し、利用目的の範囲内で利用します。

4.保管・利用について

- ・利用目的に応じて個人情報を取り扱います。利用目的を変更する場合には、情報主体本人から同意を得ます。

- ・外部からの安全管理については、「ネットワークに係る情報セキュリティに関する基本方針」に基づき、個人情報のリスクに応じて第三者からの個人情報の保護に努めます。

- ・内部的には、業務に応じて個人情報を取り扱う者を限定し、不必要に個人情報の利用を行えない仕組みを確立します。

- ・個人情報の輸送や破棄なども含め、各場面での個人情報の利用目的とリスクに応じた措置を講じます。

5.委託について

- 各個別方針や事前の告知で断りがない限り、個人情報の委託を行いません。委託をする場合には、事前に告知を行い、同意を得ます。その際、委託先名を公表しない場合には、本学の責任で委託先管理を行います。

6.第三者への提供について

- 各個別方針や事前の告知で断りがない限り、第三者へ個人情報の提供を行いません。第三者へ提供する場合には、取得時、または提供前に、情報主体本人から同意を得てから行います。

7.個人情報の開示、訂正、削除について

- 個人情報を開示することにより業務の適正な執行に支障が生じない限り、自らの個人情報に関する開示、訂正、削除について対応いたします。対応方法や対応に要する時間の目安については、各個別方針又は事前の告知で示します。

8.不服の申立てについて

- 個人情報の取扱いに関する事項について不服がある場合は、学園が設置する「不服申立審査会」(仮称)に不服の申立てをすることができます。

学校法人 大覚寺学園
理事長 坂口博翁
制定:平成17年3月24日

執行部体制(運営協議会)

平成17年度の執行部が、下記のとおり編成されました。

学長	三好郁朗教授
芸術学部長	箱崎睦昌教授
短期大学部長	黒川彰夫教授
教務部長	桑田政美教授
学生部長	北村正己教授
入試部長	増田 洋教授
企画広報室長	有岡保行教授
芸術文化研究所所長	大竹仁子教授
総務部長	午居隆平事務局長

教学体制

平成17年度教学体制の責任者が、下記の通り決定しました。任期は2年です。

大学院研究科長	箱崎睦昌教授(兼任)
芸術学部造形学科長	宇野和幸助教授
芸術学部観光デザイン学科長	金氏脩介教授
短期大学部美術学科長	北村正己教授(兼任)
短期大学部専攻科長	吉水絹代教授
講義部門長(共通)	森本 武教授
短期大学部美術・工芸部門長	北村正己教授(兼任)
短期大学部デザイン部門長	藤本秀樹教授

附属機関、研究機関等体制

平成17年度の附属施設、研究機関の体制が下記の通り決定しました。

附属図書館長	黒川彰夫教授(兼任)
附属博物館長(ギャラリー兼務)	林 潤一教授
芸術文化研究所所長	大竹仁子教授
観光デザイン研究センター長	真板昭夫教授

事務局人事(専任職員)

平成17年度の異動ならびに昇格人事が4月1日付で実施されました。

教務課長	小澤昇士(前入試課長)
学生課長	物部雄次(前教務課長)
企画広報課長	三宅一穂(前企画広報課長兼学術推進課長)
博物館・ギャラリー課課長	炭山尚賢(前学生課長)
入試課係長	松本 透(昇格)
芸術文化研究所主任	田中連子(前学術推進課主任)
総務課員	森田美穂(前学生課員)
教務課員	小川範子(前総務課員)
入試課員	若林静江(前教務課員)
キャリア支援課員	中島健三(前図書館員)
キャリア支援課員	丹羽 巧(前入試課員)
博物館・ギャラリー課員	佐野恵子(前学術推進課員)

※博物館・ギャラリー課の新設に伴い、学術推進課は廃止されました。

総務関係

名誉教授の称号授与

平成17年3月31日に退職された伊勢信子先生(前短期大学部美術学科イラストレーション標準コース教授)に名誉教授の称号が授与されました。(平成17年4月1日付)

昇任人事

下記の先生が平成17年4月1日より教授に昇任されました。

短期大学部美術学科	大森正夫
短期大学部美術学科	北村正己
短期大学部美術学科	佐野仁志

新規採用人事(専任教員)

下記の教員が平成17年4月1日付けにて着任されました。

芸術学部造形学科(講義部門)	佐々木正子教授
芸術学部造形学科(版画)	大島成己講師
芸術学部観光デザイン学科	辻 勇佑講師
短期大学部美術学科(グラフィックデザイン)	坂田岳彦講師
短期大学部美術学科(イラストレーション)	神谷三郎講師

芸術文化研究所が移転

芸術文化研究所は、管理棟の2階に企画広報室と同室で執務しておりましたが、5月より管理棟1階に移転しました。教員の研究支援、研究生支援を中心としながら、今年度は、「京都嵯峨野文化サロン」「生涯学習講座」「連続講座 京の美意識」を推進していきます。

学生ホールの改修終了

クラブボックスの移転が完了し、その跡地となっていた学生ホールの改修が完了しました。新学期から本格的に始動しています。また、地下にあった購買部を、この学生ホールに移転し、スペースは従来の3倍程度の広さになりました。

「有響館」通用ゲートの開門

有響館の出入りについては、正門ゲート(川治い)からを通路としていましたが、4月11日より裏門にあたる「通用ゲート」を開門しました。

新任教職員紹介

佐々木 正子(芸術学部／講義部門)



学生時代は日本画を専攻し、その後、古画描法の研究に携わるようになりました。日本絵画の描法がどの様に外来表現を取り入れてきたか等にも興味を持っております。学生時代はさまざまなことにチャレンジできる素晴らしい時期です。私自身、学生の方々に刺激を受けて一緒に勉強していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

大島 成己(芸術学部／版画)



本学を卒業後、ずっと作家活動が続けてきました。卒業後すぐにデザイン関係の仕事に就き、サラリーマン業と作家業の両立の大変さを実感。また色々な大学非常勤を経ながらドイツに留学したり、大学院博士課程で再び勉強しながら仕事したりと、思えば現在も含めて起伏の多い人生だった様に思います。作家活動が続ける緊張感を持続させるのは大変ですが、何事も前向きに捉えていくバイ

タリティーが肝心だと日頃から痛感しています。

辻 勇佑(芸術学部／観光デザイン)



初めまして。わたしは、今までフリーのビジュアルデザイナーとして活動してまいりました。テーマは「優しいデザインで易しい繋がり」で、「誰」にとっても優しくわかりやすく伝わるデザインを目指しています。教員としてもこのテーマからビジュアルコミュニケーションを考察し、関係の構築を支援するデザインというものを学生とともに考え研究していきたいと思います。よろしくお願いします。

坂田 岳彦(短期大学部／美術学科)



大学を卒業後、京都を離れていましたが、15年ぶりに戻ってきました。芸術教育の「聖地」である京都で、教育・研究活動に携われることを幸せに感じています。デザインとはより豊かな人間生活のための造形行為であり、それには人間、世の中、自然を知ること重要であると考えています。色々な世界に触れられる教育環境を作っていきたいと考えています。

神谷 三郎(短期大学部／美術学科)



芸術大学を卒業後、母校での非常勤講師や専門学校の講師をしてまいりました。イラストレーションにとつての大きな魅力のひとつは、「視覚的にその時代を表現し得ること」ではないかと思っています。ですから授業は膨大な情報量の中で生活する学生の皆さんが、個々に感じている「今」を表現し、作品を通してお互いの価値観について話し合える場になってほしいと考えています。

大学報告

平成17年度入学式

京都嵯峨芸術大学ならびに京都嵯峨芸術大学短期大学部の平成17年度入学式を4月4日(月)に執り行いました。なお、入学者数は、下記のとおりに確定しています。

◎京都嵯峨芸術大学大学院

芸術研究科1年入学者／9名

◎京都嵯峨芸術大学

造形学科1年入学者／100名

造形学科3年入学者／12名

観光デザイン学科1年入学者／55名

観光デザイン学科3年入学者／2名

◎京都嵯峨芸術大学短期大学部

美術学科1年入学者／259名

専攻科1年入学者／46名



大学報告

平成17年度入試結果

芸術学部	志願者	受験者数	合格者数	競争率
日本画	150	148	32	4.6
油画	94	93	55	1.7
版画	21	20	20	1.0
メディアアート	76	75	43	1.7
彫刻	33	33	28	1.2
観光デザイン	204	198	99	2.0
芸術学部合計	578	567	277	2.0
短期大学部	志願者	受験者数	合格者数	競争率
美術分野	135	131	127	1.0
デザイン分野	203	198	183	1.1
短期大学部合計	338	329	310	1.1
総合計	916	896	587	1.5

TOPICS

教員の活躍

京都府知事より感謝状授与

京都フラワーセンターの4月29日のリニューアルに伴い、坂上英彦教授(観光デザイン)の指導のもと、本学芸術学部観光デザイン学科3回生5人が広告やポスター等を企画・制作しました。また、これらに対して、京都府知事より感謝状が授与されました。

嵯峨中学校より感謝状授与

2001年より本学短期大学部デザイン分野の柴田教授を中心に、本校学生が赴いての技術指導や、中学生を本校へ招くなど、さまざまな相互交流が行われてきました。今回、これらの功績が認められ嵯峨中学校より感謝状が授与されました。

在学生の活躍

かばんプロジェクト

4月14日(木)～20日(水)まで有響館2F学生情報フロアで、豊岡市の企業との連携により、短期大学部専攻科デザイン専攻の学生9人と奈良平宣子教授(プロダクトデザイン)による、商品化を目的とした「かばん」プロジェクトの作品展が開催されました。

JCF学生映画祭でW受賞！

3月31日(木)に行われた「第6回JCF学生映画祭」において、芸術学部の金澤麻由子さんの作品「たれたれ」がグランプリとワニミニッツ部門の2部門で受賞しました。

高倉通りに学生作品が展示

4月29日(金)～5月5日(木)まで、「めっちゃ元気やで！高倉通り実行委員会」との連携により、高倉通り(四条～錦小路)の

商店街に芸術学部油画・版画、短期大学部洋画の学生作品が展示されました。

行事

大覚寺華道祭で作品展示

4月15日(木)～17日(土)に大覚寺で執り行われた嵯峨御流の華道祭において、芸術学部・短期大学部ともに制作展からの選抜作品が華道祭に彩りを添えました。

新入生歓迎祭

学友会主催による恒例の「新入生歓迎祭」が4月9日(土)に第1グラウンドにて開催され、綱引き大会が行われました。短期大学部デザインAチームが優勝、芸術学部観光デザインA、同Bチームがそれぞれ準優勝しました。

下宿生交流会

新入生、特に下宿生にとっては、親元から離れた生活がスタートするのは期待と不安の連続です。そこで学生同士の交流の場所づくりとしてイベントを開催しており、今年は4月16日(土)に実施、健康管理や先輩からのアドバイス、クッキング実演と試食、交流を行いました。

附属博物館

本学所蔵収蔵品展を開催

本展覧会では、短期大学開学以来長年収集してきた貴重な資料や作品を「第一回収蔵品展」として公開しました。

博物館会場では、本学の学長でもあった、佐和隆研氏(宗教美術研究者)が本学に残されたインド・オリッサ地方の研究資料を公開し、ギャラリー会場では本学の教授でもあった川端彌之助氏(油画)の裸婦や風景画を中心に展示。博物館とギャラリーの二つのゾーンに分けて収蔵品展をご覧いただける内容となりました。

I N F O R M A T I O N

■ 入試関連情報

各種入試イベントを下記の通り実施します。その他、全国各地で開催される進学相談会への参加を予定しています。2006年度入試要項などのご請求、入試に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

[入試課]

TEL.075-864-7878 FAX.075-881-7133

nyushi@kyoto-saga.ac.jp

■ 月例法要

毎月1回有響館G401教室で行われています。ご存じの通り、この教室には大覚寺よりご寄贈いただいた嵯峨天皇と弘法大師の尊像が祀られています。月例法要は、平成16年5月から始められ、毎回、大覚寺から法要にお出ましいただき、

オープンキャンパス		
7/31(日) ～8/2(火)	10:00～17:00	京都嵯峨芸術大学
9/23(金・祝)	10:00～17:00	京都嵯峨芸術大学
入試直前対策講習会		
10/10(月・祝)	12:00～17:00	京都嵯峨芸術大学
12/18(日)	12:00～17:00	京都嵯峨芸術大学

学長はじめ教職員が参列し、執り行っています。20分程度の儀式で、自由参加となっていますが、建学の精神に触れる機会でもあり、教職員はもちろん学生の皆さんもご参加ください。

■ 京都嵯峨野文化サロン

第4回企画 「自然と人の心が織りなす雅な世界、『源氏物語』」

本学と大覚寺が連携して3年前より開催している「京都嵯峨野文化サロン」も今年で4回目を迎えます。今回は「自然と人の心が織りなす雅な世界、『源氏物語』」をテーマに下記の要領で行います。多くの人々を魅了してやまない『源氏物語』の世界を堪能して下さい。

会場／旧嵯峨御所 大本山大覚寺

日程／平成17年10月8日(土)

時間／午後5時10分～午後7時30分

<講演> 臈谷 壽氏(同志社女子大学教授)

<上方舞> 吉村桂充氏(上方舞舞踊家)

<対談>

福嶋昭治氏(園田学園女子大学教授)

吉村桂充氏

定員／250名(先着順)

参加費／2,000円

申し込み／往復はがきに郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、電話番号、年齢を明記の上、平成17年9月12日(月)～9月26日(月)までに下記へ送付して下さい(必着)。

*往復はがき1枚につき、原則1名とさせていただきますが、同行者のある場合は、その旨を明記し同行者の氏名も並記して下さい。

*当日、受講票により大覚寺並びに祇王寺の拝観ができます。

○お申し込み・お問い合わせは
京都嵯峨野文化サロン事務局まで

TEL.075-864-7898 FAX.075-882-7770

geibunken@kyoto-saga.ac.jp

■ 附属博物館スケジュール

◎9/20(火)～10/10(月)
「メディアアート企画展」(仮称)

◎11/1(火)～12/22(木)
「観光芸術展
—観光が育てた芸術作品 動物を中心に—」

■ アートスペース嵯峨スケジュール

◎7/29(金)午後～8/6(土)
「専攻科作品展」

◎9/20(火)～9/25(日)
「イラストF教室展」

◎10/1(土)～10/16(日)
「アートエッジ展」

◎11/1(火)～11/30(水)
「観光芸術展
—観光が育てた芸術作品 動物を中心に—」
◎12/6(火)～12/22(木)
「マイカメラ・マイスタイル・マイフォト展」
◎平成18年2/8(水)～2/12(日)(予定)
「制作展」

◎2/15(水)～2/19(日)(予定)
「研究生展」

※都合により日程等の変更があります。

○お問い合わせは博物館／ギャラリー課へ

TEL.075-864-7852 FAX.075-882-7770

museum@kyoto-saga.ac.jp

■ 生涯学習講座

「小学生夏休み講座」開催!

夏休み恒例企画「小学生夏休み講座」を、今年も夏休み期間中の8月5日(金)～7日(日)に開講します。今年は「動く造形」をテーマに、1・2年生は「モビールを作ろう」、3・4年生は「風車を作ろう」、5・6年生は「フライングバードを作ろう」の内容で、日用品や廃品を使った立体工作の面白さを体験します。

■ 連続講座のおしらせ

連続講座「京の美意識」のご案内

昨年10月に始まった連続講座「京の美意識」も、すでに8回を終了しました。第6回目となる4月は羽田登氏を講師に迎え、「京の着物」をテーマにご講演頂きました。その後も5月は茂山あきら氏による「京の笑い」、6月は藤間勘祐悟氏による「京の舞」と、毎回ご好評を頂いております。なお、今後の講座日程は下記の通りです。お申込みは、往復ハガキ、FAXまたはEメールのいずれかに郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、参加人数(1通につき2名まで)、電話番号、FAX番号、Eメールアドレスと参加希望の講座名を明記の上お送りください。

◎10/15(土)「京の木の仕事」
講師:村山明氏(漆芸家/重要無形文化財保持者)

◎11/26(土)「京の菓子」
講師:高家昌昭氏(京菓子(株)塩芳軒代表取締役)

◎12/10(土)「京の表具」
講師:岡岩太郎氏((株)岡墨光堂代表取締役)

◎1/21(土)「京の生花」
講師:来田仙甫氏(嵯峨御流華道総司所相談役)

◎2/25(土)「京の芸能」
講師:金剛永謙氏(金剛流宗家/能楽師)

◎3/25(土)「京の祭り」
講師:川塚錦造氏(菊水鉢保存会副理事長)

○お問い合わせは芸術文化研究所まで

TEL.075-864-7898 FAX.075-882-7770

geibunken@kyoto-saga.ac.jp

京都嵯峨芸術大学広報

第13号

2005年7月20日発行

編集●京都嵯峨芸術大学 企画広報室

発行●学校法人大覚寺学園 京都嵯峨芸術大学

〒616-8362 京都市右京区嵯峨五島町1番地

TEL.075-864-7859

FAX.075-882-7770

http://www.kyoto-saga.ac.jp

info@kyoto-saga.ac.jp

印刷●大光印刷株式会社